

森の川自然散歩

2019年10月号

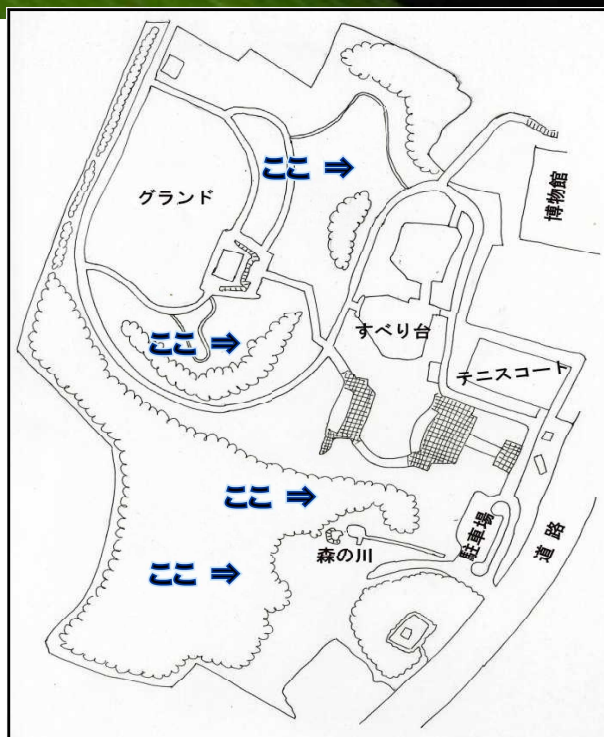


カラが青いのか、身が青いのか、どっち？

上：夜にススキの葉の上を散歩しているアオミオカタニシ。

アオミオカタニシ（メモ）▶▶▶

- 前に紹介したオキナワヤマタニシよりは、少し小さめ(カラの直径15mm)です。でも、カラフルさでは断然勝っています。
- 森川公園では、森の川の泉の周りや、ウガンヌカタの後ろの森、ソテツ広場の周り、モクマオウのトンネル道などで見られます。特に雨の後などには、葉っぱや小枝にいるのがすぐ見つかります。
- オキナワヤマタニシと同じようにフタを持っています。また、眼はつなの先にはありません。つなの付け根にあります。拡大してみると、つぶらな瞳っぽいので、少しかわいいかな。大人になると、カラ口の周りが厚くなり、外側にめくれます。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(32) 石垣に育つ植物たち



(上) : 上の広場にかかる遊歩道の途中にある石垣。

(左) : 石垣に生えたガジュマルの幼木。

森川公園には何カ所かに石垣があります。石垣の表面を見てみると、いろいろな植物が生えています。ある日、特に目的は無かったのですが、何種類あるのか数えてみました。モクマオウのトンネル下から、展望台下の階段までの間の石垣には、19種類の植物が生えていました。

石垣の割れ目やすき間、石垣に空いた穴などから、いろいろな植物が顔を出しています。公園ではおなじみのムラサキカタバミや大木になるガジュマルなどもあります。水や栄養分は、どこからとるのででしょうか。大きな木になっても、石垣は大丈夫なのでしょう。だからといって、はぎ取ってしまうのもかわいそう
な気がします。

森川公園10月の花ごよみ

～ クスノハガシワ ～

- 沖縄島では、日当たりのよい開けた場所や、中南部の石灰岩地によく見られます。
- 森川公園入口の左手の斜面に生えていて、道沿いには若い木が見られます。葉の長さは15cmくらいで、先細りになったへらの形をしています。葉を触ると、ざらざらしています。
- 沖縄島の中南部ではフタオチョウの食草(樹)ともなっています。初夏にオレンジ色の実をつけます。



上:公園の入口に生えているクスノハガシワの若い木。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

